

社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	大分市宅地耐震化推進事業（防災・安全）													
計画の期間	令和０２年度　～　令和０５年度（４年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	大分市													
計画の目標	大規模盛土造成地の中で対策工事が必要な危険性のある宅地を把握するために行う変動予測調査（第二次スクリーニング）を実施するにあたり、対象宅地の調査の優先度評価を行う。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		69	A	69	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A ＋ B ＋ C ＋ D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R5末）
1	令和２年度までに全339箇所全ての大規模盛土の造成年代調査を実施する。			
	造成年代調査	0%	100%	100%
2	令和３年度までに全339箇所の大規模盛土の内、半数の約１７０箇所の第二次スクリーニング計画の作成を行う。			
	第二次スクリーニング調査の優先度判定（約１７０箇所）	0%	100%	100%
3	令和４年度までに全339箇所全ての大規模盛土の第二次スクリーニング計画の作成を行う。			
	第二次スクリーニング調査の優先度判定（３３９箇所）	0%	100%	100%
4	令和5年度までに、Aランクの大規模盛土を対象として早期に第２次スクリーニングをすべき優先度の高い盛土の選定を行う			
	第２次スクリーニング調査の優先度判定	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	大分市	直接	大分市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	変動予測調査	大分市	■	■	■	■		69		未策定	
												小計						69		
											合計						69			

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大分市 都市計画部 開発建築指導課

事後評価の実施時期

令和6年3月

公表の方法

大分市のホームページに掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

市内全箇所の大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング計画を策定し、第二次スクリーニングの優先度を評価することができた。また、早期に第二次スクリーニングに着手すべき大規模盛土造成地の選定を行うことができたため、今後、計画的に宅地の安全性の確認を推進することが可能になった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

早期に第二次スクリーニングに着手すべき大規模盛土造成地を選定できたため、今後は計画的に第二次スクリーニングを推進する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	令和2年度までに全399箇所全ての大規模盛土の造成年代調査を実施した割合		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	令和3年度末時点で、半数の大規模盛土造成地（約170箇所）の第二次スクリーニング計画を策定（優先度評価実施数/170）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	令和4年度末時点で、全大規模盛土造成地（339箇所）の第二次スクリーニング計画を策定（優先度評価実施数/339）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
4	令和5年度末時点で、優先度評価がAランクの大規模盛土造成地（84箇所）の第二次スクリーニング早期着手の必要性を判断（早期着手評価の実施数/84）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	